



栄光の未来

R5.5.12 発行

第3号

生徒総会

「自治」を目指す姿があった！

生徒会の最高議決機関である生徒総会が、9日（火）に行われました。4年ぶりに対面の形で開催された生徒総会でしたが、本部役員や専門・学年委員長の皆さんの説明や答弁も堂々としたもので、さすが東石山中のリーダーだと感心しました。



対面での生徒総会は、全校生徒にとって初めての経験でした！

もちろん、当日に至るまでの役員の準備や各学級での学級討議、そして当日の議長団の落ち着いた議事進行があったからこそ、今年度の生徒総会がスムーズに進行し、充実したものになったのだと思います。

生徒会や生徒会会員には、次のようなことが求められています。

- **集団や社会の一員として、よいよい学校生活づくりに参画する。**
- **協力して、学校生活上の諸問題の改善・解決を目指す。**

つまり、自主・自律、協働、創造を目指した「挑戦」を通して、生徒自身の手で自分たちの学校生活を創り上げることが、生徒会の活動の目的であり、皆さんにはそれを達成する使命があるのです。

提出されたそれぞれの議案について、全校生徒が真剣に討議し、承認の可否を生徒一人一人が責任をもって判断・決定した結果、5つの議案全てが可決承認されました。

この過程において、先生方の出番は一切ありませんでした。生徒が自分たちで熱く議論し、自分たちの学校生活にかかわる重要なことを、自分たちの手で、自分たちの意志で決定する営みでした。

「心得」見直しは、生徒会の自治そのものだ！

生徒総会で「校内生活の心得」の見直しについて審議されたことは、生徒会の取組としてとても意味のあることだったと捉えています。全校朝会でも話しましたが、「心得」について生徒が考え、自分たちで見直しを図ることは、学校づくりや充実した学校生活を生徒自身によって行っていくための象徴的な取組であり、生徒会の「自治」に直結するものです。

そして、この「自治」に根差した「生徒主体の学校づくり」こそが、自分が皆さんに求めたいものなのです。

今年度の生徒会スローガンは「**協想 ～笑顔確定 運ジャーズ～**」です。今回の生徒総会を終えて、全校生徒455人が「運ジャーズ」としての自覚と、生徒会活動の充実に向けた意識を高めたのではないのでしょうか。

責任ある決定を行い、今年度の生徒会活動をスタートした東石山中「運ジャーズ」の皆さんは、これからどのように学校づくりを進めてくれるのでしょうか。皆さんの頑張りに期待しています。

生徒会への大いなる期待

挑戦

- **目的を見据えて活動に取り組む**
 - ・ 全ては「目的」があってスタート・・・「**本質**」が大事
 - ・ 「活動ありき」「形式的」になってはいけない
- **限界を定めず、高みを目指す**
 - ・ 低い目標や楽な取組、前例踏襲には、成長も進化もない
 - ・ 生徒会としてどんな未来を描くのか・・・「**目指す姿**」
- **自分たちの手による学校づくりを推進する**
 - ・ 困難と責任を覚悟して、物事を決める・・・「**自己決定**」
 - ・ 「生徒主体の学校づくり」の象徴・・・「**心得の見直し**」

455人が真の「運ジャーズ」になることを期待！

茶色の「運ジャー」は全国で東石山中ただ1校！